

日本環境安全事業ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会
東京事業部会

JESCOでは、平成20年9月9日(火)に専門の知識と経験を有する学識経験者で構成されるポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会(主査:永田勝也 早稲田大学理工学部教授)を開催し、東京PCB廃棄物処理施設における操業状況について報告し、審議検討をいただきました。

検討の概要

(1)東京PCB廃棄物処理施設における操業状況について

事務局より資料に基づき、平成20年度における操業状況、環境測定結果、トラブル発生状況及び設備改善状況等について説明を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・ 蒸留精製工程において、脱水膜劣化については十分な対応をとること。
- ・ ストレーナー清掃などの作業手順書は分かり作成し、教育もしっかり実施すること。
- ・ 排気系のDXNsの監視においてオンラインモニタリングのPCB測定値で変化がないかどうか確認行うこと。
- ・ オンラインモニタリングの運用にあたっては、夾雑物対策を講じること。

(2)東京PCB廃棄物処理施設の作業安全衛生状況について

事務局より資料に基づき、作業安全衛生状況について説明を行なった。

主な意見は以下のとおり。

- ・ 汚染を抑えるために工具などの洗浄を行なうこと。
- ・ 作業手順書は随時見直しを実施すること。